

蜜入りセンサ 操作方法

各部の名称



測定方法

蜜入り度合い判定レベルを任意の値に設定します。(電源投入後も変更可能)

判定レベルの設定範囲は1~4です。0・5の設定は無効で連続ブザー音で警報します。

電源スイッチを入れ、設定した判定レベルのLEDが点灯することを確認します。

準備完了LED(緑色)の点灯を確認した後、発光窓にりんごを座りよく置き、軽く下方に押しつけます。(測定用LEDの光は目に見えません)

りんごは落ちない程度に弱く握ります。強すぎるとりんごが傾いたまま押しつけられ、ゴムの丸穴との間に隙間があき、光が漏れて判別を誤ることがあります。

測定りんごに応じたレベルまで判定LEDが点灯し、ブザー音でお知らせします。

判定結果(ブザー音)

ブザー音	判定結果
ピーー (長音1回)	蜜過多
ピピピピッ (短音4回)	設定値以上合格音
ピピピッ (短音3回)	設定値 ~ +10%
ピッ (短音1回)	設定値以下

判定結果(LED)

レベル表示値	蜜入りのレベルとりんごの内部品質
過大	多過ぎて日持ちが悪い可能性大。蜜褐変の危険も。
4	多め
2~3	適度な蜜入り
1	僅かな蜜入り(蜜入りが見えなくても完熟品)
0	蜜無し、または未熟品

蜜入りのレベルは、「青森県果樹栽培指導書」に準拠。凍結りんごや長期保存で蜜入りが減ったものは、見かけよりも多めに表示されることがあります。

異常警報(自己診断機能)

本製品はブザー音とLEDの点灯状態で、異常とその原因を知らせます。

ブザー音	LEDの状態		原因
ピー音断続	過大	点滅	何度測定しても同じ現象が続く場合は 発光装置異常。要修理。
	4	点滅	
	3	点滅	
	2	点滅	
	1	点滅	
	0	点滅	
	準備	点滅	
ピー音連続	過大	消灯	機器内の温度が-5 以下 (温度が上がるまで待つ)
	4	点灯	
	3	消灯	
	2	点灯	
	1	消灯	
	0	点灯	
	準備	点灯	
ピー音連続	過大	点灯	電源電圧が110V以上
	4	点灯	
	3	点灯	
	2	消灯	
	1	消灯	
	0	消灯	
	準備	点灯	
ピー音連続	過大	消灯	電源電圧が70V以下
	4	消灯	
	3	消灯	
	2	点灯	
	1	点灯	
	0	点灯	
	準備	点灯	

その他注意

凹凸のりんご

形が悪いと、ゴムの丸穴との隙間から光がもれ、正確な判別ができないことがあります。凹みが無く、丸みのある方を受光窓に向けるか、柄の方を下にむけ逆さにしても測定できます。

特大玉と小玉

特大玉(500g以上)では、少なめに表示される傾向にあります。特に小さな小玉は丸穴に落ち込み、正しく判定できないことがあります。

蜜入りの偏りなど

蜜が偏って入っている場合はりんごの向きで測定表示に違いが出ます。また、蜜が霜降り状に分散したりんごは、見かけよりも高めの表示になります。